

平成21年度

事業報告・決算報告

{ 自 平成21年 4月 1日 }  
{ 至 平成22年 3月 31日 }

平成22年5月

社団法人 科学技術と経済の会

## 目 次

平成21年度 事業報告書	-----	1
1. 事業活動の概要	-----	1
2. 経営研究事業	-----	3
3. 普及啓発事業	-----	21
4. 国際活動事業	-----	22
5. 支援活動事業	-----	23
6. 支部活動事業	-----	25
7. 受託・助成事業	-----	27
8. 表                    彰	-----	29
9. 会    の    動    き	-----	29
平成21年度 決算報告書	-----	31
正味財産増減計算書	-----	32
貸借対照表	-----	33
財産目録	-----	34
財務諸表に対する注記	-----	35
監事意見書	-----	36

## 平成 21 年度事業報告

### 1 事業活動の概要

平成 21 年度は、年間を通して、今までに類を見ない、世界を揺るがす大規模かつ緊迫した金融・経済危機の中にありました。

国際的には、ドバイショックに続き、ユーロ圏の財政不安が顕在化しました。また、日本経済については、年度末の 3 月に至り、政府が、“二番底の懸念が和らぎ、景気は着実に持ち直している”として 8 ヶ月ぶりに景気判断を上方修正しましたが、一方で、国内の需要不足、デフレーションの進行、雇用情勢など依然として厳しい状況が続きました。

さらに、我が国でも、政権交代が現実のものとなり、政府の方針、予算執行、行政の仕組みなど見直しのめまぐるしい動きが続きました。

このような、いまだ、自律的な回復への力強い動きが見えない、世界的な混沌状態のなかでこそ、当会の創立以来の役割である技術・経営研究、人材育成、普及啓発などの事業活動が重要であるとの観点に立ち、平成 21 年度につきましても、広く技術と経営の課題について会員各位とともに積極的に切磋琢磨してまいりました。

まず、事業活動の中核である経営研究事業ですが、“技術経営会議”と“明日の経営を考える会”につきましても、従来どおり、会員相互の積極的な自主活動を基本に活動を展開しました。

“技術経営会議”では、前年に引き続き、“環境エネルギー専門委員会”“イノベーション志向型経営研究専門委員会”の活動を積極的に展開しました。さらに、ここ数年、日本の国際競争力の低下が危機感を持って叫ばれるなか、産業界が積極的に日本経済の活性化に資するべく、平成 22 年度より“産業競争力委員会”を立ち上げることとし、その準備を進めました。また、“明日の経営を考える会”についても、運営形態の深化を図り、活動の充実とシンプル化を図りました。

“メンテナンス研究会”については、引き続き、積極的な活動を展開するとともに、ライフサイクルおよびソフトウェアの重要性に対する観点が不可欠であることから、研究会の名称を“ライフサイクル・メンテナンス研究会”と変更し、ソフトウェアの課題を明確にしました。

“技術競争戦略研究会”については、第 V 期の研究会を平成 21 年 12 月に終了しましたが、既参加者の継続開催の要請を受け、平成 22 年 3 月に“オンリーワン企業・事業から学ぶ実践的経営学”をテーマとして第 VI 期の研究会

を開講しました。

“社会・環境型センサーネットワーク協議会”については、平成 21 年 2 月に、学会・産業界のセンサーネットワークの専門家が参加して発足し、最新の技術動向をフォローする研究活動と社会実証実験を進めました。また、米国 C I T R I S などと国際的な活動の連携を図りました。

次に、普及啓発事業につきましては、科学技術週間協賛行事として、第 37 回技術予測シンポジウム“国際金融危機に対して、科学技術・産業はどのように対応するか”を開催しました。なお、このシンポジウムの名称につきましては、技術を予測するのみならず、経営に反映してこそ意義があることから、その意を明確にする意味で第 38 回より“技術・経営シンポジウム”と変更することとしました。また、機関誌“技術と経済”については、掲載論文、MOT 学会論文など内容の充実を図り、平成 21 年度末で第 517 号を数えるに至りました。

受託調査研究につきましては、平成 20 年度から継続の（財）新技術振興渡辺記念会様からの研究を平成 21 年 12 月に終了するとともに、平成 21 年度に新規に受託した、（独）新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）様からの研究、および、総務省様からの研究を平成 21 年度末に終了しました。また、研究助成につきましては、（財）新技術振興渡辺記念会様からの平成 20 年度からの継続 1 件、平成 21 年度助成 1 件を終了するとともに、平成 22 年度にまたがる研究 1 件を実施中であります。

国際活動事業につきましては、平成 21 年 7 月に、韓国産業技術振興協会（KOITA）との間で、国際的研究活動に関する MOU を締結し、その活動の第 1 弾として、平成 21 年 9 月、日本で日韓交流シンポジウムを開催しました。また、平成 21 年 10 月には、米国、ミシシッピ州経済開発庁との交流会を持ったほか、米国、ポートランドで開催された技術経営に関する国際会議（PICMET）およびチュニジアで開催された日本との学術交流会に当会関係者が参加し相互の交流を深めました。

支部活動につきましては、名古屋支部において、おおむね月 1 回の頻度で積極的な活動が展開されました。

また支援活動事業としては、技術同友会の若手の会である F F 会の事務局、創造型研究体制研究会（森フォーラム）の事務局としてその活動の支援をしました。

表彰関係につきましては、例年のとおり、法人会員 1 社、個人会員 22 名に対し、永年会員表彰を行いました。

公益法人改革につきましては、改革関連 3 法が施行されて 1 年強になりま

すが、当会としても、当会の事業活動との整合性、メリット・デメリット等について検討いたしました。検討結果にもとずき、理事会において議論して頂き、基本的な方向付けがなされました。

会員数につきましては、個人会員の高齢化や、日本経済が今回の未曾有の金融・経済危機の渦に巻き込まれたことなどから、個人会員、法人会員とも減少し、それぞれ、684名、117社となりました。会員の維持・拡大は、当会の活動の重要な基盤であり、平成21年度も積極的な会員の維持・拡大に努めました。その結果、退会取りやめ2社、平成22年度からの新規入会6社となりました。

平成21年度は、会費収入が減少しましたが、一方で、新規の受託事業を多く受注できたことと合わせ、事業活動の充実を図りつつ事業運営の効率化を進めた結果、収支均衡させる事が出来ました。関係各位のご支援、ご協力により、当初の計画を達成する事が出来ました。

## 2 経営研究事業

### 2-1 技術経営会議

産業横断的な経営者の集まりである当会の特徴を生かし、会員相互のFace-to-Faceを基本とする交流を通じて切磋琢磨することによって、技術経営の質的向上を図り、各会員がより確固たる展望を得ることを念頭に、運営を推進した。

#### (1) 本会議

本会議は会員代表者の要望に基づくテーマを中心にテーマ設定を行い、技術経営会議の活動成果の共有化を促進し、会員の顧客満足度の向上と、新会員勧誘の場としての活用を図った。

①第71回本会議 平成21年8月28日 於 明治記念館

沖電気工業株式会社取締役会長 篠塚 勝正氏の議長挨拶に引き続き、活動報告、決算報告と審議などを経て、第29期運営委員の選任を行った。

#### (i) 専門委員会報告

発表者：(株)日立製作所 川上 潤三 氏 (環境・エネルギー専門委員会委員長)

パナソニック(株) 櫛木 好明 氏

(イノベーション志向型経営研究専門委員会委員長)

#### (ii) パネル討論

「金融危機後の日本型イノベーション経営を探る」

司会：東京ガス(株) 副社長 前田 忠昭 氏

基調講演：三菱電機(株) 上席常務執行役 久間 和生 氏

(株)富士通総研 取締役 安部 忠彦 氏

パネリスト：東京大学 特任教授 小川 紘一 氏  
住友スリーエム(株) CPO 大久保 孝俊 氏  
川崎重工業(株) 執行役員 牧村 実 氏  
(株)大林組 常務取締役 三輪 昭尚 氏

(iii)特別講演会

特別講演Ⅰ（メンバースピーチ）

演題：「NTTデータにおける企業変革のマネジメント」

講師：(株)NTTデータ 代表取締役社長 山下 徹 氏

特別講演Ⅱ

演題：「低炭素社会に向けた環境モデル都市の取組み」

講師：(独)建築研究所 理事長 村上 周三 氏

特別講演Ⅲ

演題：「東大IRIT研究機構のロボットイノベーション」

講師：東京大学教授 情報理工学系研究科長 下山 勲 氏

演題：「パートナーロボットの目指すところ」

講師：トヨタ自動車(株) 理事 高木 宗谷氏

②第72回本会議 平成22年2月24日 於 ホテル・グランドパレス

・議長挨拶 篠塚 勝正 議長 沖電気工業(株) 取締役会長

・パネル討論会 『金融危機後の日本型イノベーション経営を探る(PART2)』

第一部：講演の部

開会：パネルの主旨説明

座長：大成建設(株) 顧問 河村 壮一 氏

講演1

演題：『イノベーションモデルとビジネスモデルイノベーション』

講師：東京大学 特任教授 妹尾 堅一郎 氏

講演2

演題：『電気自動車へのパラダイムシフトへ向けたイノベーション経営』

講師：日産自動車(株) フェロー 久村 春芳 氏

講演3

演題：『日本の原子力技術開発とグローバル展開』

講師：(株)東芝 電力システム社 統括技師長 前川 治氏

講演4

演題：『太陽電池によるパラダイムシフトに向けたイノベーション経営』

講師：シャープ(株) 執行役員 村松 哲郎 氏

第二部：パネル討論の部

座長、講師、フロア

閉会：パネルの総括

座長：大成建設(株) 顧問 河村 壮一 氏

## (2) 定例会

定例会はメンバースピーチと特別講演を主体とし、会員の要望を反映した企画とした。また、技術経営会議会員以外の法人会員、個人会員などを招聘し、より幅広い交流の場を創出した。それにより新会員獲得の一助とした。

### ① 第 75 回定例会 平成 21 年 6 月 10 日 於 ホテル・グランドパレス

#### ・メンバースピーチ

演題：「地球温暖化防止と電気二重層キャパシタの国際戦略」

講師：日本ケミコン(株) 常務取締役 内 秀則 氏

演題：「グローバル化の本質～協業と分業、コラボレーションが  
ベスト企業を作る～」

講師：前ソニー(株) 業務執行役員 SVP 久保田 幸雄 氏

#### ・特別報告

演題：「E I RMA 活動報告」

講師：日本電気(株) 代表取締役執行役副社長 広崎 膨太郎 氏

#### ・特別講演

演題：「知の構造化によるイノベーションの昂進」

講師：東京大学 教授 イノベーション政策研究センター長 松島 克守 氏

### ② 第 76 回定例会 平成 21 年 11 月 11 日 於 ホテル・グランドパレス

#### ・メンバースピーチ

演題：「日本信号の成長戦略」

講師：日本信号(株) ビジヨナリービジネスセンター

EMS 事業推進部 部長 松川 公一 氏

#### ・特別講演

演題：「経済危機後の日本型イノベーション経営」

講師：東京理科大学 総合科学技術経営研究科長 伊丹 敬之 氏

演題：「新政権下での政策～産業・科学技術を中心に～」

講師：参議院議員 藤末 健三 氏

## (3) 運営委員会

(第 28 期：平成 20 年 9 月～平成 21 年 8 月)

(第 29 期：平成 21 年 9 月～平成 22 年 8 月)

第 212 回運営委員会で第 28 期の定常の運営委員会を終了し、第 71 回本会議(東京で開催)で、第 29 期の運営委員が選任された。また第 71 回本会議中に開催

した臨時運営委員会で第29期の役員を選任した。第213回運営委員会では、第29期の運営方針を討議し、確認した。

①第212回 運営委員会 平成21年5月13日 於 ホテル・グランドパレス  
議題：諸活動の計画と報告等

②第213回 運営委員会 平成21年10月14日 於 ホテル・グランドパレス  
議題：第29期運営方針について等

③第214回 運営委員会 平成22年1月27日 於 ホテル・グランドパレス  
議題：2010年度事業計画および予算案の審議等

#### (4)代表者懇談会

(i)第12期代表者懇談会(平成20年9月～平成21年8月)

第12期も、第11期に引続き、統一テーマを特に設けず幅広く議論する方針とし、進行は議長団が対応した。

①第4回 平成21年4月8日

演題：「最近の設計者の失敗 ー干渉と複雑ー」

講師：東京大学大学院工学系研究科 産業機械工学専攻 教授 中尾 政之 氏

②第5回 平成21年5月13日

演題：「日本の力・世界の力ー経済危機の過去と現在ー」

講師：防衛大学校 学校長 神戸大学名誉教授 五百旗頭 真 氏

(ii)第13期代表者懇談会(平成21年9月～平成22年8月)

①第1回 平成21年10月15日

演題：「安全・安心をめぐるグローバルな動向と日本の課題  
ーテロ対策を中心としてー」

講師：科学技術振興機構 社会技術研究開発センター フェロー 古川 勝久 氏

②第2回 平成21年12月2日

演題：「GLOBALな環境で、さらなる競争力を企業に」

講師：イグナイト・グループ 会長 三井 信雄 氏

③第3回 平成22年1月27日

演題：「政権交代後の日本の政治～政権運営と政策の動向～」

講師：学習院大学 法学部 教授 佐々木 毅 氏

#### (5)専門委員会

会員の関心の高い技術経営上の重要課題について研究するプロジェクトであり、テーマの「イノベーション志向型経営研究」と「環境・エネルギー専門委員会」の2専門委員会を推進した。

(i)研究テーマ：「イノベーション志向型経営研究」

委員長：パナソニック(株) 顧問 櫛木 好明 氏

- ・第5回研究会 平成21年4月14日 於(社)科学技術と経済の会 会議室  
 演題：「経済危機の前後ニーズ変革点を捉える」  
 講師：(株)野村総合研究所 上級コンサルタント 吉野 完 氏  
 演題：「情報家電から見た時代の求める技術開発」  
 講師：パナソニック(株) 東京R&Dセンター所長 三輪 真 氏
- ・第6回研究会 平成21年5月22日 於(社)科学技術と経済の会 会議室  
 演題：「イノベーション創出支援」関西経済同友会の提言から  
 講師：関西電力(株) 石田 文章 氏  
 演題：ビジネスモデルの「作り方方法論」  
 ～グローバル競争の競争優位の源泉をデザインする～  
 講師：兵庫県立大学 教授 安室 憲一 氏  
 演題：イノベーションを起こさせるニーズ変革点を捉える俯瞰の視点  
 講師：(株)創知 社長 中村 達生 氏  
 演題：「九州大学イノベーション人材養成センターの活動紹介」  
 講師：九州大学知的財産本部副本部長 隅田 憲宏 氏
- ・第7回研究会 平成21年7月21日 於(社)科学技術と経済の会 会議室  
 演題：「イノベーション志向経営」経済同友会の提言から  
 講師：杉尾 俊之 氏 沖電気工業(株) 経営企画部 上席主幹  
 演題：「次世代ロボット産業の現状と課題」  
 講師：(株)MOTソリューション 代表取締役  
 ロボットビジネス推進協議会 幹事 石黒 周 氏  
 演題：「未来予測 2009-2025」 ～環境からサステナビリティへ～  
 講師：(株)アクアビット 社長 田中 栄 氏
- ・第8回研究会 平成21年11月4日 於(社)科学技術と経済の会 会議室  
 演題：「技術を顧客価値につなげるマーケティング」  
 講師：(株)ニューチャーネットワークス シニアコンサルタント福島 彰一郎 氏  
 演題：「電子コンパスビジネスの挑戦」  
 講師：旭化成エレクトロニクス(株) 事業グループ長 山下 昌哉 氏
- ・第9回研究会 平成22年1月15日 於(社)科学技術と経済の会 会議室  
 演題：「パナソニック(株)事例から見るニーズ・シーズ転換点を捉える経営」  
 講師：パナソニック(株) コーポレート R&D 戦略室 参事 坂下 誠司 氏  
 演題：顧客価値を創造する「戦略機能」  
 講師：(株)社会インフラ研究センター 代表取締役 旭岡 勝義 氏
- ・第1回分科会 平成21年12月9日(水)  
 演題：「International Journal of Technology Marketing の取り組み、

及び技術マーケティングに関する問題提起」

講師：武蔵大学経済学部 教授 米山 茂美 氏

演題：「分科会活動報告（大企業発ベンチャー）」

講師：(株)東芝 電力システム社 参事 犬伏 裕之 氏

- ・第10回研究会 平成22年3月12日 於(社)科学技術と経済の会 会議室

演題：「サービス科学の方法」

講師：(独)産総研 社会知能技術研究ラボ長 橋田 浩一 氏

演題：「日立における新事業創生活動の歴史」

講師：(株)日立製作所 オープンイノベーションセンタ長 旭岡 勝義 氏

(ii)テーマ：「環境・エネルギー専門委員会」

委員長：(株)日立製作所 顧問 川上 潤三 氏

- ・第5回研究会 平成21年5月20日 於(社)科学技術と経済の会 会議室

講演：「清水建設のCDM/JIプロジェクトへの取組」

講師：清水建設(株) 排出権プロジェクト推進部長 栗田 弘幸 氏

講演：「世界の水環境問題解決に貢献する日本の水処理膜技術」

講師：東レ(株) 水処理・環境事業企画管理室 主幹 竹内 弘 氏

- ・第6回研究会 平成21年7月8日 於(社)科学技術と経済の会 会議室

講演：「日本の2020年温室効果ガス排出量目標設定について」

講師：(独)国立環境研究所 地球環境研究センター

温暖化対策評価研究室 主任研究員 藤野 純一 氏

- ・第7回研究会 平成21年10月30日 於(社)科学技術と経済の会 会議室

講演：「ナノテクを活用した薄膜Si太陽電池の開発と今後の動向」

講師：(株)カネカ RD推進部イノベーション企画部長 太和田 善久 氏

- ・第8回研究会 平成21年12月16日 於(社)科学技術と経済の会 会議室

講演：「大規模太陽光発電の事業性・技術性について」

講師：(株)NTT ファシリティーズ ソーラープロジェクト本部部長

田中 良 氏

- ・第9回研究会 平成22年1月13日 於(社)科学技術と経済の会 会議室

講演：「三菱商事の太陽光事業への取組」

講師：三菱商事(株) 新エネルギー事業第一ユニット

太陽光原料チームリーダー 真壁 恒裕 氏

- ・第10回研究会 平成22年2月3日 於(社)科学技術と経済の会 会議室

講演：「鉄鋼業の省CO2活動と今後の展開」

講師：新日本製鉄(株) 技術開発本部 温暖化対策研究企画グループリーダー

実原 幾雄 氏

(6)キーマン活動

技術経営会議会員各社の中からは、企業の明日を担う方にキーマンとして相互で切磋琢磨することを基本に活動を実施。具体的活動は以下の通りである。

(i) 見学会／技術交流会

平成 21 年 4 月 22 日

・見学会

日産自動車(株)「先進技術開発センター」

センター概要説明／館内見学／FCV 試乗

・技術交流会プレゼン

「横河電機の電池評価技術への取り組み」

横河電機(株) 先端技術研究所 山崎 大輔 氏

「液圧ラミネート技術を用いた基板材料の提案」

宇部日東化成(株) ユピセル開発課 鈴木 太郎 氏

「新型広温度範囲電気二重層キャパシタの開発」

日本ケミコン(株) キャパシタ事業本部 製品開発部 仲秋 健太郎 氏

「ものすごく強いコンクリート「ダクタル」」

大成建設(株) 技術センター 土木技術開発部 武者 浩透 氏

「社会・環境型センサーネットワーク協議会 (SeNSA) 活動」

(株)科学技術と経済の会 太田 健一郎

平成 21 年 10 月 9 日

・見学会

パナソニック(株)「東京センター」

センター概要説明／館内見学／FCV 試乗

・技術交流会プレゼン

「横河電機の電池評価技術への取り組み」

横河電機(株) 先端技術研究所 山崎 大輔 氏

「液圧ラミネート技術を用いた基板材料の提案」

宇部日東化成(株) ユピセル開発課 鈴木 太郎 氏

(ii)キーマン定例会

・平成 21 年 6 月 1 日

演題：「技術資産利益率の評価について」

講師：経済産業省 産業技術環境局 技術戦略企画官 岡田 武 氏

演題：「新しい方式の中小型水力発電機の開発」

講師：川崎重工業(株) 技術企画部 部長 崎山 雅行 氏

- ・平成 21 年 6 月 22 日  
 演題：「中国江蘇省に建設中の最新製紙工場について」  
 講師：王子製紙(株) 統括技術本部 技術部長 篠田 耕太郎 氏
- ・平成 21 年 7 月 27 日  
 演題：「ソリューション志向とプラットフォームについて」  
 講師：(株)東芝 技術企画室 企画担当 島津 忠美 氏  
 テーマ：「新規施策について」  
 講師：文部科学省研究振興局研究環境・産業連携課専門官岩田行剛氏他  
 (独) 科学技術振興機構イノベーション推進本部調査役 野口義博氏
- ・平成 21 年 11 月 24 日  
 演題：『シミズ・オープン・アカデミー』の概況  
 ～青少年のものづくり喚起の 1 年～  
 講師：清水建設(株) 技術研究所 企画部長 三橋 秀明 氏
- ・平成 21 年 12 月 11 日  
 演題：“知能型ロジスティクス支援ロボット” ロボット技術と実用化に向けて  
 講師：(株)日立産機システム 研究開発センター 副技師長  
 兼ロボット研究プロジェクトリーダー 谷口 素也 氏
- ・平成 22 年 1 月 22 日 (TM研究会との合同開催)  
 演題：人間本性と「利益」追求～進化倫理学の視点から～  
 講師：一橋大学「戦略的大学連携支援事業」事業研究員 内藤 淳 氏
- (7) Ad Hoc 講演会 平成 21 年 7 月 3 日 於 JATES 会議室  
 演題：「イノベーション力を強化する産業技術政策の在り方  
 (産業構造審議会産業技術分科会基本問題小委員会報告書) について」  
 講師：経済産業省 産業技術環境局 技術戦略企画官 岡田 武 氏
- (8) TM研究会
  - ・平成 21 年 6 月 26 日 (メンバー講演) 於 JATES 会議室  
 演題：「社会貢献事業としての日本農業考」  
 講師：協和エクシオ(株) 橋口 長和 氏
  - ・平成 21 年 7 月 23 日 (見学会) 於 東京ガス(株) 新宿ショールーム  
 ショールーム見学  
 演題：「新価値創造を目指す生活研究と文化醸成」  
 講師：東京ガス(株) 都市生活研究所 所長 中塚 千恵 氏
  - ・平成 21 年 9 月 14 日 (特別企画) 於 関西電力(株) 黒部第四発電所  
 テーマ：「地球環境の時代に先人の技術遺産を学ぶ」

## 2-2 明日の経営を考える会

自社の特徴を最大限に発揮しつつ特徴化経営の推進に努力する異業種の経営者が一堂に会し、より効果的な企業経営を推進して行くための異業種交流と経営研究の場の構築を目的として以下の事業活動を推進した。

[平成 21 年度活動方針]

1. MS（メンバー満足度）向上による 25 社体制の堅持と会員増加
2. 企業経営に役立つ情報の発信基地とする

### (1) 定例会

- ①第 113 回定例会 平成 21 年 7 月 9 日 於 ホテル・グランドパレス  
特別講演：『百年に一度』の危機は世界経済、日本経済をどう変えてゆくのか？～危機後の成長戦略を考える』

講師：みずほ総合研究所(株) 専務執行役員チーフエコノミスト  
杉浦 哲郎 氏

- ②第 114 回定例会 平成 21 年 10 月 22 日 於 ホテル・グランドパレス  
特別講演：「シリコンバレイのベンチャー企業から学ぶ」

講師：オプティワ(株) 代表取締役 岩越 尚樹 氏

- ③第 115 回定例会 平成 22 年 3 月 18 日 於 ホテル・グランドパレス  
特別講演：「ICT 政策の動向」

講師：総務省 情報通信国際戦略局 技術政策課長 奥 英之 氏

### (2) 幹事会

- ①第 116 回幹事会 平成 21 年 5 月 14 日

- ②第 117 回幹事会 平成 21 年 9 月 10 日

- ③第 118 回幹事会 平成 22 年 2 月 25 日

### (3) 代表者懇談会

- ①第 53 回代表者懇談会 平成 21 年 5 月 14 日 於 JATES 会議室  
スピーチ：「世界経済の発展と課題」

話題提供者：サンタクララ大学 特別訪問フェロー  
パナソニック(株) 終身客員 佐野 令而 氏

- ②第 54 回代表者懇談会 平成 21 年 8 月 6 日 於 ホテル・グランドパレス  
講演：「社会と共に歩む経営」

講師：学校法人 文化学院 理事長 校長 戸田 一雄 氏

- ③第 55 回代表者懇談会 平成 21 年 9 月 10 日 於 JATES 会議室  
スピーチ：「日本民俗学を通して見えてくる宗教観

『案外知っているようで知らないお話』

話題提供者：池野通建(株) 常務取締役 畠中 博通 氏

④第56回代表者懇談会 平成21年11月19日 於ホテル・グランドパレス  
講 演：「クラウドコンピューティングの概要」  
講 師：学びing(株) 代表取締役社長 斉藤 常治 氏

⑤第58回代表者懇談会 平成22年2月25日 於 JATES 会議室  
話題提供者：(株)アルバック 代表取締役会長 中村 久三 氏  
スピーチ：「アルバックの経営戦略 ～人を活かす経営のあり方～」

#### (4)スタディサークル

①第29回スタディサークル (JATES 総会と合同実施) 平成21年5月26日  
於 ホテル・グランドパレス  
講 演：「我が国のこれからの宇宙産業」  
講 師：(独)宇宙航空研究開発機構 理事長 立川 敬二 氏

②第30回～第31回スタディサークルは上記代表者懇談会と共同開催

#### (5)マネジメント研究会

コーチ：サンタクララ大学 特別訪問フェロー  
パナソニック(株) 終身客員 佐野 令而 氏

平成21年度参加会員企業：9社12名

- ・第1回 5月25日 14:30～18:00 於 ホテル・グランドパレス  
研究テーマ「明日の企業価値を考える」
  - ・キックオフミーティング
- ・第2回 6月2日 15:30～18:00 於 JATES 会議室
  - ・講演聴講とディスカッション
  - ・講 演：「世界経済の発展と課題」  
講 師：佐野 令而 氏
- ・第3回 6月25日 15:30～18:00 於 JATES 会議室
  - ・サブテーマ「持続可能な社会と企業の在り方」(企業と社会)  
「景気変動と人材活用」(企業と人)
  - ・サブテーマに対する各社の取組等の意見交換
- ・第4回 7月30日 15:30～18:00 於 JATES 会議室
  - ・講演聴講とディスカッション
  - ・講 演：「価値観の大転換とこれからの産業社会  
＝ビジョンを描けない人には、未来は創れない＝」  
講 師：千葉商科大学 名誉教授  
飯沼 光夫 氏
- ・第5回 8月28日 於 明治記念館

- ・講演聴講とディスカッション
- ・講演：「N T Tデータにおける企業変革のマネジメント」  
講師：(株)N T Tデータ 代表取締役社長 山下 徹 氏
- ・特別講演：「低炭素社会に向けた環境モデル都市の取組」  
講師：独立行政法人 建築研究所 理事長 村上 周三 氏
- ・パネル討論：「金融危機後の日本型イノベーション経営を探る」  
司 会：東京ガス(株) 副社長 前田 忠昭 氏  
基調講演：三菱電機(株) 上席常務執行役 久間 和生 氏  
(株)富士通総研 取締役 安部 忠彦 氏
- パネリスト：東京大学 特任教授小川 紘一 氏  
住友スリーエム(株) 執行役員 大久保 孝俊 氏  
川崎重工業(株) 執行役員 牧村 実 氏  
(株)大林組 常務取締役 三輪 昭尚 氏
- ・特別講演：「ロボット技術の現状と将来展望」  
講演：「東大 I R T 研究機構のロボットイノベーション」  
講師：東京大学 教授 情報理工学系研究科長 下山 勲 氏  
講演：「パートナーロボットの目指すところ」  
講師：トヨタ自動車(株) 理事 高木 宗谷 氏
- ・第 6 回 9 月 8 日, 16 日, 24 日 15:00~18:00 於 JATES 会議室
- ・グループ別ディスカッション
- ・第 7 回 10 月 15 日 15:00~18:00 於 JATES 会議室
- ・第 8 回 11 月 4 日, 17 日 15:00~18:00 於 JATES 会議室
- ・第 9 回 12 月 7 日, 16 日 15:00~18:00 於 JATES 会議室
- ・第 10 回 1 月 6, 7, 18, 25 日 15:00~18:00 於 JATES 会議室
- ・第 11 回 2 月 2, 10, 18, 22 日 15:00~18:00 於 JATES 会議室
- ・第 12 回 3 月 6, 8, 11 日 15:00~18:00 於 JATES 会議室

#### (6)見学会

- ①第 71 回 平成 21 年 4 月 23 日：喜連川社会復帰促進センター
- ②第 72 回 平成 21 年 6 月 18 日：小津産業(株) 植物工場
- ③第 73 回 平成 22 年 2 月 4 日：(独)海洋研究開発機構
- ④第 74 回 平成 21 年 12 月 10 日：NEC 山梨
- ⑤臨時 平成 21 年 11 月 9 日：東京スカイツリー

#### (7)明経コミュニケーション誌発行

- ・第 73 号：平成 21 年 7 月発行
- ・第 74 号：平成 21 年 10 月発行

- ・第75号：平成22年 1月発行
- ・第76号：平成22年 3月発行

## 2-3 メンテナンス研究会

### (1) 研究会活動の概要

- ・平成12年10月発足した第2期研究会は、順調に活動を続け、全法人会員がオープンで参加できる形式をとっている。
- ・研究会の進め方については、会員のニーズに応え、従来の座学中心の研修会方式から、メンテナンス現場における講演会、討論会または見学会方式としている。
- ・「メンテナンス研究会」は、産官学一体で推進しており、持続可能な社会の実現を目指す重要課題として、現状及び将来の「メンテナンス」諸問題をとらえ、「サステイナブルな社会実現に向けたメンテナンスのあり方—技術継承・IT活用・ライフサイクルメンテナンスの視点から—」を研究の柱として研究活動を推進することとしている。

①研究会参加企業数：17社

②アドバイザー

- ・ Univ. of Cincinnati / Ohio Eminent Scholar  
& L. W. Scott Alter Chair Prof. Dr. Jay Lee
- ・ 日本診断工学研究所 所長 豊田 利夫 氏
- ・ 早稲田大学 教授 高田 祥三 氏
- ・ 大阪大学大学院 特任講師 加藤 悟 氏

### (2) 研究会

委員長 大阪大学大学院 教授 梅田 靖 氏

①第67回研究会 平成21年5月26日 見学会・講演会

見学：住友化学(株)千葉工場

講演：石油化学プラントメンテナンスにおける様々な取り組み

講師：住友化学(株)千葉工場 工務部設備チームリーダー 高橋 義政 氏

②第68回研究会 平成21年6月30日 見学会・講演会

見学：ANA機体メンテナンスセンター（羽田空港の新整備場地区）

講演：航空機整備について

講師：全日本空輸(株) 整備本部機体メンテナンスセンター 主席 向 晃弘 氏

③第69回研究会 平成21年7月16日 見学会・講演会

見学：大成建設（株）技術センター

講演：地震防災技術とモニタリング

講師：技術センター 建設技術研究所 防災研究室長 長島 一郎 氏

④第70回研究会 平成21年8月21日 講演会

講演1：道路橋の効率的な管理を支援するブリッジマネジメントシステム

講師：鹿島建設(株) 土木管理本部 技師長 金氏 眞 氏

講演2：効果的な人材育成事例～技術技能伝承の実際～

講師：(株)高田工業所 技術本部 技術部長 炭矢 芳男 氏

⑤第71回研究会 平成21年9月16日 見学会

見学：NTT東日本ネットワークオペレーションセンター（さいたま新都心）

講演：通信サービスの安定的な提供に向けた取り組み

講師：NTTMEネットワークオペレーション事業部

全国ネットワークコントロール部門 山岸 俊哉 氏

(3) 運営会議の開催

20年度下期から21年度上期にかけて開催した第62回～第71回メンテナンス研究会の成果に基づいて、第72回以降のメンテナンス研究会の在り方を運営会議を開催して検討した。

・日時：平成21年10月20日（火）午後3時～6時

・場所：科学技術と経済の会 会議室

・出席者：委員長梅田教授以下主要企業メンバー7社並びに事務局から12名参加

・議論結果：メンテナンスに関わる研究をライフサイクルエンジニアリングの視点並びに環境・エコの視点からも推進することとし、研究会の名称を「ライフサイクル・メンテナンス研究会」とすることとした。

また、環境・エコの視点からのアドバイスをいただくため、新たに日本電信電話(株)環境エネルギー研究所の半田隆夫氏にアドバイザーに迎えることとし、第72回以降も大阪大学大学院教授梅田靖委員長のもと活動することとした。

(4) ライフサイクル・メンテナンス研究会

第72回以降のライフサイクル・メンテナンス研究会を以下のように企画した。

・期間：平成21年12月～平成22年9月

・委員長：大阪大学大学院 教授 梅田 靖

・参加企業：17社

①第72回研究会 平成21年12月22日 講演会

講演1：循環型社会の創出と社会基盤設備（ICT関連）のメンテナンス

講師：日本電信電話(株) 情報流通基盤総合研究所

環境エネルギー研究所 環境システムプロジェクト 半田 隆夫 氏

講演2：モンゴルのエネルギー事情と発電所／メンテナンスの実態

～ウランバートル 第4火力発電所～

講師：JICA・シニアボランティア 安元 昭寛 氏

②第73回研究会 平成22年1月19日 見学会

見学：首都高速中央環状新宿線大橋グリーンジャンクション 目黒区青葉台  
完成真近の地球環境に配慮した“グリーンジャンクション”

③第74回研究会 平成22年2月23日 見学会

見学：(独)防災科学技術研究所 本所  
講演：茨城県つくば市 災害に強い社会の形成

④第75回研究会 平成22年3月19日 見学会・講演会

見学：NTTドコモ ネットワークオペレーションセンター  
講演：基地局のメンテナンス

## 2-4 技術競争戦略研究会

### (1)研究会設立趣旨と活動の概要

資源が乏しいわが国の企業は「世界と戦って勝てる技術・商品」の開発に挑戦し続けて今日の豊かさを獲得してきた。しかしながら、最近の急激な資源高騰、温暖化などの環境問題に加えて、未曾有の金融危機に見舞われ、複雑化する国際社会の潮流のなかで、独自の技術と経営手法でいかにして企業価値を高めていくかが最大の課題になっている。

本研究会は「オンリーワン企業」と言われる超優良企業の経営者の方々に「世界と戦って勝てる技術・商品づくりのリーダーとしてのお考え」を語っていただき、その中から「技術も経営も一流にするための教訓」を学ぶという趣旨で、平成15年10月に第1期研究会を立ち上げ、引続き平成17年3月に第2期研究会を設立し、平成18年9月に第3期研究会を設立した。第4期研究会については、会員からのご要望に応え、現場見学などを取り入れた構成で設立した。

第V期の研究会では、「オンリーワン企業・事業から学ぶイノベーション ～経営トップの実体験に学ぶ経営の極意～」をテーマとして、現場に立脚した示唆に富む講演をいただくとともに、現場を見て学ぶために工場見学を交え、さらに、参加会員とのディスカッションを行う形態とした。

### (3)第V期研究会

第V期研究会を平成21年1月に設立し、第1回研究会を1月に開催した後、平成21年12月まで計12回開催する。

- ・テーマ：オンリーワン企業・事業から学ぶイノベーション  
～経営トップの実体験に学ぶ経営の極意～
- ・委員長：政策研究大学院大学 教授 橋本 久義 氏
- ・参加企業：21社

- ①第4回研究会 平成21年4月14日  
講演：「世界初7種のメカニカル継手で衰退からの脱出をはかる」  
講師：東尾メック(株) 代表取締役社長 東尾 光紹 氏
- ②第5回研究会 平成21年5月19日  
見学：小松ばね工業(株)  
講演：「超精密ばねのモノ作りと品質管理の考え方」  
講師：小松ばね工業(株) 代表取締役社長 小松 節子 氏
- ③第6回研究会 平成21年6月23日  
講演：「人工衛星に夢を託して、航空宇宙を地場産業に」  
～モノづくりから人づくり～  
講師：(株)アオキ 代表取締役 青木 豊彦 氏
- ④第7回研究会 平成21年7月22日  
講演：「プロペラ・コアテクノロジーをベースに最適創造カンパニーへの挑戦」  
講師：ナカシマプロペラ(株) 代表取締役社長 中島 基善 氏
- ⑤第8回研究会 平成21年8月25日  
講演：「免震から免雷の時代へ」  
～IT社会を異常気象から守るトップバッター～  
講師：音羽電機工業(株) 代表取締役社長 吉田 修 氏
- ⑥第9回研究会 平成21年9月29日  
講演：「グループウェア日本一を生み出した、新チームワーク経営」  
講師：サイボウズ(株) 代表取締役社長 青野 慶久 氏
- ⑦第10回研究会 平成21年10月27日  
講演：「企業は人なり、人の育て方」  
～キラリと光る「小さな大企業」、日本一の「ニッチのデパート」～  
講師：(株)関ヶ原製作所 代表取締役社長 大平 薫夫 氏
- ⑧第11回研究会 平成21年11月10日  
見学：(財)鉄道総合技術研究所  
講演：「鉄道ルネッサンスの到来」～鉄道技術の現状と課題～  
講師：(財)鉄道総合技術研究所 顧問 秋田 雄志 氏
- ⑨第12回研究会 平成21年11月24日  
講演：「常に考える。なぜ、なぜ、なぜの経営」  
～自由な社風と人事制度で、驚異的な新商品開発力～  
講師：未来工業(株) 代表取締役社長 瀧川 克弘 氏
- ⑩第13回研究会 平成21年12月15日  
講演：「オンリーワン企業から学ぶ-総括-」

講師：技術競争戦略研究会委員長 政策研究大学院大学 教授 橋本 久義 氏

## (2) 第VI期技術競争戦略研究会

V期に引続き、第VI期技術競争戦略研究会を企画し、3月に第1回研究会を実施した。

・テーマ：オンリーワン企業・事業から学ぶ実践的経営学

～経営トップの実体験に学ぶ経営哲学・経営手法～

・委員長（兼コーディネータ）：政策研究大学院大学 教授 橋本 久義氏

・参加企業：20社

第1回研究会 平成22年3月9日

基調講演：（会員自己紹介を含む）

講演：日本の科学技術政策 ～ここ15年の成果と課題～

講師：（独）科学技術振興機構 理事長 北澤 宏一 氏

## 2-5 社会・環境型センサーネットワーク協議会

### (1) 社会・環境型センサーネットワーク協議会

本協議会は、主として内外の社会的課題解決に資するセンサーネットワーク技術の分野における有識者の連絡協調を促進し、本技術について調査・研究・開発を行い、これによってわが国でのセンサーネットワークの普及や振興をはかり、国際貢献を果たすとともに世界的なIT技術による社会的課題解決に寄与することを目的とする。

運営委員長：板生 清 氏（東京大学名誉教授、東京理科大学教授）

副委員長：河野 隆二 氏（横浜国立大学教授）

#### ・第4回運営委員会

日 時：平成21年10月2日

場 所：当会会議室

1) SeNSA 社会実験進捗報告と今後の進め方（太田委員）

2) CITRIS/BSAC 東京会議について

3) 受託の経過報告

4) SeNSA 会費規定の改正について

#### ・第5回運営委員会

日 時：平成22年2月16日

場 所：当会会議室

1) 社会実験の状況報告

2) 社会実験の承認伺い

3) 生活習慣病予防実験の報告

4) 受託・助成の経過報告

## (2) センサーネットワーク研究会

センサーネットワーク普及のために、以下を研究課題とする。

- ①ユーザーとの協働で、センサーネットワークによる、有効なサービスイノベーションを生み出すこと
- ②インターフェースやセンサーデータの標準化
- ③センシングされたデータと健康・環境・安全レベルとの相関性に関する研究
- ④ビジネスモデルや価格に関するオープンなディスカッション・交流
- ⑤米国 CITRIS 他との国際交流

なお、ここでいう「センサーネットワーク」は、センサー、通信技術（主として無線を対象）、CPU、コンピュータ、アプリケーション、関連するハードウェアやソフトウェア、およびそれらを用いたサービス行動等から構成され、環境、エネルギー、健康、安全安心などの社会的課題解決に資するシステムを指すこととしている。

委員長 元ソニー(株) 執行役常務 渡辺 誠一 氏

### ・第 16 回研究会

日 時：平成 21 年 4 月 21 日

場 所：当会会議室

・議題 1：「偏波面保存光ファイバと干渉型センサ」

講 師：日立電線(株) 熊谷 達也 氏

・議題 2：「農業へのセンサーネットワーク応用の現状と課題」

講 師：豊橋技術科学大学 特任教授 三枝 正彦 氏

### ・第 17 回研究会

日 時：平成 21 年 5 月 28 日

場 所：当会会議室

・議題：「Continua Health Alliance の概要及び技術紹介」

講 師：インテル(株) 田上 信介 氏

### ・第 18 回研究会

日 時：平成 21 年 6 月 19 日

場 所：当会会議室

・議題：「都市の災害事故リスクの監視とマネジメント」

講 師：東京大学大学院 教授 藤野 陽三 氏

### ・第 19 回研究会

日 時：平成 21 年 7 月 30 日

場 所：当会会議室

・議題：「ソーシャルビジネスとしての地域あんしんシステム」

講 師：社会システムデザイン プロジェクト総括リーダー 田尾 陽一 氏

(早稲田大学 理工学研究所 客員講師)

・第20回研究会

日 時：平成21年8月20日

場 所：当会会議室

- ・議題1：「心電解析による自律神経系反応の変動と心理学的傾向の関連性」

講 師：文教大学 人間科学部心理学科 教授 石原 俊一 氏

- ・議題2：「IT農業の取組みと課題」

講 師：東京大学 工学系研究科教授 山田 一郎 氏

・第21回研究会

日 時：平成21年9月17日

場 所：当会会議室

- ・議題1：「センサネットワークシステム北米調査報告」

講 師：(社)科学技術と経済の会 小野 昌之 氏

- ・議題2：「自動車用センサの現状と今後への期待」

講 師：古賀総研 センサ技術コンサルタント 嶋田 智 氏

(茨城大学非常勤講師)

・第22回研究会

日 時：平成21年10月23日

場 所：当会会議室

- ・議題1：「位置検出技術の概説と位置ビジネス」

講 師：ロケーション(株) 山口 雄一郎 氏

- ・議題2：「PHSを使った位置情報検知システム」

講 師：清水建設(株) 山本 裕治 氏

- ・議題3：「Wi-Fiを使った位置測位技術と事業事例」

講 師：クウジット(株) 三屋 光史朗 氏

・第23回研究会

日 時：平成21年11月19日

場 所：東京国際フォーラム（有楽町） G405 室

- ・議題1：「Wireless Sensor Networks: Functions, Standards and Protocols」

講 師：BSAC Prof. Kris Pister

- ・議題2：「Microwatt Microbial Energy Generation and NanoSuperCap Storage」

講 師：BSAC Prof. Liwei Lin

- ・議題3：「Power Environment Sensing」

講 師：BSAC Prof. Richard White

- ・議題4：「Multiband Radio Technology for Accessibility, Power and Reliability Enhancements」

講 師：BSAC Prof. Clark Nguyen

- ・議題5：「Harsh Environment Sensing」

講 師：BSAC Prof. Al Pisano

- ・第24回研究会

日 時：平成22年1月8日

場 所：当会会議室

- ・議題：「MEMS センシングシステムの概要」

講 師：兵庫県立大学大学院 工学研究科 教授 前中 一介 氏

- ・第25回研究会

日 時：平成22年1月29日

場 所：当会会議室

- ・議題：「センサーネットの開発技術、動向、ビジネス展開について」

講 師：日立製作所ワイヤレスインフォベンチャーカンパニー  
カンパニー長 木下 泰三 氏

### 3 普及啓発事業

#### 3-1 第37回技術予測シンポジウム

我が国産業界にとって先端科学技術の振興は極めて重要であり、その動向を長期的な視点から把握することは変化の激しい時代において必須である。また、先端科学技術には、異分野科学技術との相乗効果を促し、新しい活用技術の開拓や従来の発想では困難な問題に対してブレークスルーを提供することが期待されている。

そこで今回は「国際金融危機に対して、科学技術・産業はどのように対応するか」をテーマに、それを支える科学技術を中心として現状の課題と展望を行った。

(1) テーマ：「国際金融危機に対して、科学技術・産業はどのように対応するか」

(2) 日 時：平成21年4月17日(金) 9:30—17:15

(3) 場 所：コクヨホール

(4) 出席数：158名

(5) 演題および講師

- ・低炭素社会に向けた新しい車社会の実現

～電気自動車の開発を中心として～

三菱自動車工業(株) CSR 推進本部 環境技術部 部長 橋本 昌憲 氏

- ・わが国の産業競争力を支える工業素材・資源戦略

～持続可能な資源利用に向けて～

(独)物質・材料研究機構 材料ラボ長兼元素戦略クラスター長 原田 幸明 氏

- ・日本企業のこれからの経営戦略 ～企業論的視点から～

法政大学大学院 教授 坂本 光司 氏

- ・コマツの経営構造改革 ～強みを磨き、弱みを改革～  
コマツ 会長 坂根 正弘 氏
- ・国際金融・国際経済の動向とこれからの企業経営  
㈱日本総合研究所 調査部長 藤井英彦氏

### 3-2 機関誌「技術と経済」の発行

科学技術と経済の会の各研究会の活動を広くPRするために、各研究会の講演録を主体とする構成に編成し、掲載記事の本数を絞り込むことにより内容の充実をはかっている。平成17年11月号からA4版横書きに改訂し、幅広い年齢層に支持されるレイアウトにした。また、平成18年9月号から日本MOT学会による査読論文を掲載している。日本MOT学会は技術経営系専門職大学院協議会が中心となって平成18年6月に発足したものである。また当会の広報媒体として、各研究会の活動内容についてトピック的に読者の興味を惹くような記事を随時掲載した。

《特集テーマ一覧》

- 平成21年 4月・506号 イノベーション志向経営 (IOM)
- 平成21年 5月・507号 新しい技術が生み出すサービスとパワー
- 平成21年 6月・508号 産学官連携の現状と今後のあり方
- 平成21年 7月・509号 米国の政策・経済動向と我が国の産業
- 平成21年 8月・510号 金融危機と経営構造改革
- 平成21年 9月・511号 環境に資する技術戦略
- 平成21年10月・512号 知の構造化によるイノベーションの昂進
- 平成21年11月・513号 社会と共に歩む経営
- 平成21年12月・514号 金融危機後の日本型イノベーション経営を探る (I)
- 平成22年 1月・515号 金融危機後の日本型イノベーション経営を探る (II)
- 平成22年 2月・516号 企業変革マネジメント
- 平成22年 3月・517号 環境モデル都市の取り組み

## 4 国際活動事業

米国 IRI (Industrial Research Institute, Inc.) , EIRMA (European Industrial Research Management Association)、中国科学技術協会 (CAST)、韓国産業技術振興協会 (KOITA) 等 科学技術振興を目指す海外の民間団体等との交流を続けている。

①従来から進めていた韓国の友好団体である韓国産業技術振興協会 (KOITA) を中心とした日韓交流を、JATES・KOITA 双方の会員企業まで拡大した具体的活動に発展させるため、平成21年7月19日に、国際的研究活動に関する MOT を締結した。その具体的活動の第1弾として、日韓交流技術経営シンポジウムを開催した。

- ・日時：平成 21 年 9 月 8 日から 10 日
- ・場所：ホテル・グランドパレスー技術経営に関する講演ならびに議論（8 日）  
企業訪問ならびに質疑応答ー(株)エリオニクス、大成建設(株)（9 日）  
ー東京電力、キリンビール（10 日）

また、技術経営に関する国際会議 PICMET（Portland International Center for Management of Engineering and Technology）に参加し、JATES の活動成果を発表した。

- ・日時：平成 21 年 8 月 2 日から 6 日
- ・場所：アメリカ オレゴン州 ポートランド市 ヒルトンホテル

## ②米国ミシシッピ州経済開発庁との交流

- ・日時：平成 21 年 10 月 22 日
- ・場所：科学技術と経済の会会議室
- ・議論：日本の R&D 活動の現状、ミシシッピ州投資環境の概要説明
- ・来訪者：ミシシッピ州 Mr. Gray Swoope 開発庁長官ほか 3 名  
ミシシッピ州政府駐日代表事務所 Mr. Paul Mullins 代表ほか 1 名
- ・出席者：会員企業 6 社の国際担当者＋JATES メンバー

## ③チュニジアー日本学術交流会参加

- ・日時：平成 21 年 11 月 10 日～14 日
- ・場所：チュニジア（ハマメット市、ハマメットホテル）
- ・目的：「科学技術と経済の会」の活動の 1 つであるオンリーワン企業の研究成果を、チュニジアー日本文化・科学・技術学術会議に報告するとともに、当学術会議の活動内容を調査するため。
- ・出席者：北アフリカ諸国  
(チュニジア、リビア、モロッコ、エジプト、アルジェリア)  
政府（文科省相当）・大学関係・企業関係者約 50 名  
日本側大学関係・JICA 関係・企業関係者約 90 名

## 5 支援活動事業

技術・経済・社会問題等、会員の関心の高い今日的テーマを中心とした自主研究活動に対しての支援活動を実施した。

### (1) F F 会

#### ①卓 話

原則として毎月第 4 金曜日に開催し、科学技術等に関する諸問題に関する卓話を行い、それに基づき議論を行っている。

- ・第 1 回例会 平成 21 年 5 月 23 日  
演題：「クリーンエネルギー製造の今後」

講師：新日鉄エンジニアリング(株) 事業開発センター  
G T L 事業推進室長(部長) 若村 修 氏

・第2回例会 平成21年6月26日

演題：「日本経済が浮揚しない理由とその解決策  
ー現下の金融危機問題を解きながらー」

講師：(株)日本総合研究所 理事 新保 豊 氏 (会員)

・第3回例会 平成21年8月28日

演題：「抗癌剤の創薬に向けて」

講師：(株)キャンバス 代表取締役社長 河邊 拓己 氏

・第4回例会 平成21年10月23日

演題：「地球温暖化問題と21世紀の気候変動予測」

講師：東京工業大学大学院 理工学研究科 教授 丸山 茂徳 氏

・第5回例会 平成21年11月27日

演題：「政権交代と科学技術政策の変化」

講師：(独)科学技術振興機構 理事長 北澤 宏一 氏

・第6回例会 平成21年12月3日

演題：「情報通信企業・中央研究所での30年を振り返って  
～ [情報通信] 製造業の危機...を乗り越えて ～」

講師：技術研究組合電子融合基盤技術研究所 専務理事 藤田 友之 氏 (会員)

・第7回例会 平成22年1月22日

演題：「手ざわり感覚がなくなった日本社会」

講師：東京大学先端科学技術研究センター 教授 御厨 貴 氏

・第8回例会 平成22年2月26日

演題：「日本の大学とイノベーション」

講師：東京大学 先端科学技術研究センター 教授 玉井 克哉 氏

## ②見学会

・平成21年4月24日 東京電力(株) 電気自動車走行試験場、電気の史料館

・平成21年7月24日 宇宙航空研究開発機構 筑波宇宙センター

## ③秋期研修会 平成21年9月26日

テーマ：「危機を乗り越えて」

スピーカー：日本総合研究所 理事 新保 豊 氏 (会員)

「日本経済が浮揚しない理由とその解決策 (part2)」

## ④ミニ研修会 平成22年3月26日

演題：「科学と社会の危機」

講師：毎日新聞科学環境部記者 元村 有希子 氏

## (2) 創造型研究体制研究会（森フォーラム）

21世紀にかけて、日本の科学技術の研究体制をより創造的にするための自主研究活動に対して支援を行った。

### ・第82回例会 平成21年7月9日

卓話：バトンゾーンー産学技術移転の新モデルー

講師：(独) 理化学研究所 知的財産戦略センター 特別顧問  
政策研究大学院大学 客員教授 丸山 瑛一 氏

### ・第83回例会 平成21年10月29日

卓話：日本エレクトロニクス産業の消長

ーナノエレクトロニクス時代の先導役になり得るかー

講師：日本電気(株) 中央研究所 支配人 曾根 純一 氏

### ・第84回例会 平成21年12月17日

卓話：低炭素社会へ向けた取り組み

講師：東京大学総長室 顧問 山田 興一 氏

### ・第85回例会 平成22年3月24日

卓話：物質・材料研究機構の現状ー国際COEへの改革ー

講師：(独) 物質・材料研究機構 顧問 岸 輝雄 氏

## 6 支部活動状況

名古屋支部

### (1) 概況

当会に対する認識を高めるとともに、支部活動を通じた会員相互の緊密な連携を図るため、講演会及び談話会ならびに企業見学会等の活動を実施した。

### (2) 運営委員会 実施月日 平成21年4月22日

議 題：① 本部活動状況・事業計画

② 平成20年度名古屋支部の活動状況

③ 平成21年度名古屋支部活動計画

### (3) 談話会

談話会は会員が交代でリーダーを勤め、時世にふさわしい問題等を論ずる談話の場としてメンバーの自主的な企画により、毎月1回（8、12月を除く）開催した。昭和47年10月に第1回を開催して以来、本年3月で通算396回目になった。

### ・第387回談話会 平成21年4月16日

卓話：「名古屋鉄道の車両更新の取り組み」

講師：名古屋鉄道(株) 鉄道事業本部 車両部車両課 課長補佐 千田 智明 氏

### ・第388回談話会 平成21年5月12日

卓話：「自動車におけるエネルギーマネジメント」

講師：名古屋大学大学院 工学研究科 教授 大熊 繁 氏

- ・第 389 回 談話会 平成 21 年 6 月 18 日

卓話：「安定供給と地球環境保全に向けた当社の電源開発」

講師：中部電力(株) 経営戦略本部 設備総合計画グループ 部長 平岩 芳朗氏

- ・第 390 回 談話会 平成 21 年 7 月 16 日

卓話：「社会資本整備をとりまく話題」

講師：国土交通省 中部地方整備局 企画部 企画調整官 三上 幸三 氏

- ・第 391 回 談話会 平成 21 年 9 月 17 日

卓話：「東海道新幹線の安全と保守」～車両メンテナンスから～

講師：東海旅客鉄道(株) 総合技術本部 技術開発部 担当部長 大山 隆幸 氏

- ・第 392 回 談話会 平成 21 年 10 月 15 日

卓話：「最近の宇宙開発関連トピックスと今後の展望」

講師：三菱重工業(株) 名古屋航空宇宙システム製作所

企画経理部 主席部員 大野 貴史 氏

- ・第 393 回 談話会 平成 21 年 11 月 19 日

卓話：「クルマを取り巻く環境変化と将来展望」

～クルマの電子化・電動化・統合システム化が加速～

講師：トヨタ自動車(株) 第 2 電子開発部 主査 寺谷 達夫 氏

- ・第 394 回 談話会 平成 22 年 1 月 21 日

卓話：「科学技術・経済と ICT」

講師：総務省 東海総合通信局 情報通信部長 村上 正知 氏

- ・第 395 回 談話会 平成 22 年 2 月 18 日

卓話：「環境調和型社会を目指して」～エネルギーの未来とガス事業～

講師：東邦ガス(株) 企画部 部長 雨宮 辰信 氏

- ・第 396 回 談話会 平成 22 年 3 月 18 日

卓話：「ブラザー工業の企業変革」

講師：ブラザー工業(株) 執行役員 神谷 純 氏

#### (4) 講演会

- ・第 71 回 講演会 平成 21 年 12 月 18 日

演題：「激動するアジア経営戦略」

～中国・インド・ASEAN・中東・アフリカまで～

講師：甲南大学 経営学部 教授 安積 敏政 氏

#### (5) 企業見学会

会員の技術知識の向上及び交流を図るため、企業見学会を実施した。

- ・第74回見学会 平成21年7月8日  
見学先：シャープ(株) 亀山工場  
本田技研工業(株) 鈴鹿製作所
- ・第75回見学会 平成22年2月23日  
見学先：三菱電機(株) 稲沢製作所  
未来工業(株) 本社工場

## 7 受託・助成事業

### 7-1 「複雑・巨大化が進むITネットのリスク管理の現状とBCP国際標準化の動きを探る」 (研究助成)

- ・助成機関：(財) 新技術振興渡辺記念会
- ・期間：平成20年10月～平成21年6月
- ・調査研究の概要：

日本産業界にあっては、国際競争対応の視点から、危機管理対応など、社会的責任を明確にする事業継続計画（BCP：Business Continuity Plan）の策定が必須の条件となりつつある。そこで、特に製造産業界、公共インフラ業界に着目して、以下の2点に配慮してBCP策定モデルの提案、BCP策定の具体的対応策について調査研究した。

－BCP策定の視点が地震を代表とする自然災害に偏っているので、技術に起因するもの、人に起因するもの、ITシステムに起因するものなどに枠組みを拡大する。

－トラブル事例や危機事例、更にはベストプラクティス事例から、BCP策定に関する基本的考え方、具体的対策策定方法などBCP策定モデルを提案する。

### 7-2 「社会・環境型センサーネットワーク推進・普及のための利用基盤強化」 (受託研究)

- ・調査研究受託機関：(財) 新技術振興渡辺記念会
- ・期間：平成20年11月～平成21年12月
- ・調査研究の概要：

地球に優しい居住環境（省エネ、安全・安心）の創生に向けて、そのインフラとなるセンサーネットワーク普及のために、ステークホルダーによるコンソーシアム形成、成果のオープン化、コンセンサス作り、標準化等プラットフォーム構築活動を行った。

### 7-3 「先端技術で世界に躍進するトップ企業の経営戦略と創造的イノベーションの分析」 (研究助成)

- ・助成機関：(財) 新技術振興渡辺記念会
- ・期 間：平成 21 年 4 月～平成 21 年 10 月
- ・調査研究の概要：

サブプライムローン問題に端を発した金融危機・景気低迷の環境下で、多くの大企業がその経営に苦慮している状況であるが、そのような環境下でも事業を発展させているオンリーワン企業・中堅企業が存在する。そこでそれら優良企業の特異な経営戦略の特異性を分析し、それに基づいた体系化を実施したうえで、特に以下のポイントに焦点を当てて創造的イノベーションを活性化する施策を調査研究した。

ポイント 1：起業化を成功させた源泉・原動力は何か？

ポイント 2：各種運営上の危機とその危機を乗り越えた源泉・知恵・ノウハウは何か？

#### 7-4 「異分野融合型次世代デバイス製造技術開発プロジェクトー異分野融合分野で新しいライフスタイルを創出する革新的デバイス及び先端技術／市場動向に関する情報収集ー」 (受託研究)

- ・調査研究受託機関：(独) 新エネルギー・産業技術総合開発機構 (NEDO)
- ・期間：平成 21 年 7 月～平成 22 年 3 月
- ・調査研究概要：

NEDO の「異分野融合型次世代デバイス製造技術開発プロジェクト」に関連する技術開発動向を把握したうえで、MEMS 及びセンサの先端技術ならびに有望市場の探索を行い、プロジェクトの円滑な運営に資するとともに、実用化を促進する課題解決に向けた情報収集事業を推進した。

#### 7-5 「サステナビリティと導入インセンティブを創発するダイナミックな管理システムに関する研究開発」 (PREDICT) (受託研究)

- ・調査研究受託機関：総務省
- ・期間：平成 21 年 8 月～平成 22 年 3 月
- ・調査研究の概要：

本研究開発は、需要予測やコストメリットの明確化が困難で、ライフスタイルや趣向により省エネルギーに対する考えや取り組み方が多様であり、効果的な対策が開発途上にある家庭向けのエネルギーマネジメントを対象として、安価なハイブリッドセンサを利用したセンサネットワークを実用化するため、どのようなビジネスモデルが描けるか、普及のための課題は何か、そのための解決策として何が考えられるか等について研究を行った。具体的な方法としては、

これまで当会の諸研究会で培われている、ビジネスモデル設計や IST(イノベーション支援技術)に関する成果を本課題に援用し、さらに実企業に対する説明やヒヤリングを行い、それらの結果を研究開発側にフィードバックした。

#### 7-6 「製造業の地球環境保全への取組みと社会システムとの統合化及びその総合評価に関する研究」 (研究助成)

- ・ 助成機関：(財) 新技術振興渡辺記念会
- ・ 期 間：平成 21 年 10 月～平成 22 年 6 月
- ・ 調査研究の概要：

産業界や地方自治体等各機関で、地球環境保全に関する各種取組み(省エネ・省資源等)が行われている。本研究では、その現状を俯瞰し、更に、個別取組みに終始することなく、全体最適な視点からの総合評価法や産業界取組みと社会システム統合化のあり方を研究する。

## 8 表 彰

永年会員表彰：法人会員 1 社、個人会員 2 2 名

## 9 会の動き

### 9-1 会員数

名誉会員は佐波正一、武安義光、豊田章一郎、の 3 氏であり、通常会員、特別会員の状況は下表のとおりである。

区 分	平成 20 年度末	平成 21 年度末	平成 2 1 年度		増 減
			入会	退会	
通常会員	7 2 4	6 8 4	4 5	8 5	△ 4 0
特別会員	1 4 5	1 1 7	0	2 8	△ 2 8

### 9-2 事務局

平成 22 年 3 月 31 日現在の職員は 1 3 名である。この内訳は、技術経営会議 3 名、明日の経営を考える会 2 名、調査研究部 3 名、編集部 2 名、総括部 3 名で構成し、この中 7 名は出向者である。

### 9-3 諸会議

#### (1) 第 43 回通常総会

平成 21 年 5 月 25 日、ホテルグランドパレスにて開催し、審議事項はすべて原案通り承認された。総会後の懇親会には 161 名の多数の方が参加され、土屋政策評価

審議官より祝辞を戴いた。

・審議事項

- ①平成 20 年度事業報告・決算報告(案)
- ②平成 21 年度事業計画・収支予算(案)
- ③定款の変更(案)
- ④理事・監事の選任(案)

(2) 理事会

・第 135 回理事会 平成 21 年 4 月 21 日

- ①平成 20 年度事業報告・決算報告(案)
- ②理事の改選について
- ③韓国産業技術振興会(KOITA)との覚書締結について

・第 136 回理事会 平成 21 年 10 月 29 日

- ①平成 21 年度上期の事業運営の概況について
- ②定款等変更について②定款等変更について
- ③公益法人制度改革による移行、会員の維持拡大

・第 137 回理事会 平成 22 年 3 月 25 日

- ①平成 21 年度下期の事業運営の概況について
- ②平成 22 年度事業計画・収支予算(案)
- ③定款等変更について
- ④次期総会における永年会員の表彰

(3) 運営懇談会

・平成 21 年 4 月 15 日

- ①平成 20 年度事業報告・決算報告(案)

・平成 21 年 10 月 21 日

- ①事業運営の概況について
- ②定款等変更について
- ③公益法人制度改革による移行、会員の維持拡大

・平成 22 年 3 月 16 日

- ①事業運営の概況について
- ②平成 22 年度事業計画・収支予算(案)
- ③定款等変更について
- ④次期総会における永年会員表彰について